

広

報

しべつ

12

1996

No. 358

萌える海と大地 さわやか交流郷



◆ 工夫をこらした鮭料理に挑戦

「鮭料理コンテスト」

◆ 町内の若手がまちづくりを語る

「異業種交流・地域おこしセミナー」

「ずらりと鮭料理 34 品」

水揚げ日本一を誇る本町で地元の秋サケを使った「鮭（さけ）料理コンテスト」が、11月3日、生涯学習センター・あすばるで開かれました。

出来上がった料理は、全34品。優勝は、だれの手に。そして、その料理とは？――。

工夫をこらした サケ料理に腕を振るう

鮭料理 コンテスト



18組が参加し、腕を競った「鮭料理コンテスト」

秋サケ水揚げ日本一を誇る本町で、サケ料理の研究の成果を披露し、地域のサケ文化がさらに深まることを目的に「第一回標準町鮭（さけ）料理コンテスト」（同コンテスト実行委員会戸田雅彦委員長主催、町教委、北海道新聞社など共催）が十一月三日、生涯学習センター・あすばるで開かれました。

参加したのは地元をはじめ根室管内のほか、釧路や弟子屈など道東から計十八組。中には全員男性や親子などのグループもあり、標準漁協が提供したサケから二品を仕上げることを条件に、二時間二十分の制限時間で腕を振るいました。

審査員には、札幌・定山溪の藤井修一章月グランドホテル料理長、町内から戸田雅彦さん（同コンテスト実行委員長）、石橋昌幸さん（ふるさとグルメ研究会開発部長）、皆川タキ子さん（標準漁協・婦人部長代行）の四人。①素材の生かし方②味③盛り付け④調理の雰囲気⑤実用性⑥整理整頓などをチェックしました。

出品されたものは、比較的に手軽なものから、手の凝ったもので全三十四品。彩りも鮮やかに仕上がり、参加者は、お互いの料理を味見し、工夫した点などを語り合っていました。会場を訪れた町民は、「サケでこんなに料理ができるなんて知らなかった」「ぜひ作り方を教えてもらいたい」「これらの料理を広めることで、サケの消費拡大にもつながる」などと話していました。

優勝は
「そこがみそなの。
鮭茶漬け」

山本さんと
井上さん

優勝したのは、「そこがみそなの鮭茶漬け」の料理を出品した、はまなす苑の栄養士の山本瑞恵さんと、町栄養士の井上桂子さん。「私たちが優勝するなんてびっくり。直前までメニューが決まらなかったんですよ。目先を変えることに苦勞し、料理名にも「そこがみそなの」と優勝の喜びを話してくれました。



優勝を喜ぶ山本さん（左）と井上さん

入賞・料理

紹介



藤井審査委員長
(章月グランドホテル)
料理長



優勝

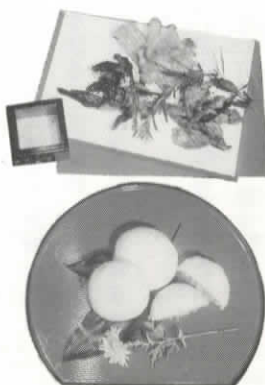
山本・井上チーム
(標津)

「そこがみそなの。
鮭茶漬け」

〈内容〉

おにぎりの中に鮭フレークとシソ、ネギ、ゴマを入れ、味噌味に。おにぎりの回りには、薄く切った鮭を巻き、焼きながら、みりんをつけて照りを出す。その上に海苔をつけ、イクラの醤油漬けをのせ、だし汁をそいで出来上がり。

〈講評〉
アイディアにはびっくり。丸いボールの中に何が入っているのかと思ったら、鮭のフレークが入っていて、お茶漬けになるとは驚いた。味もしっかりしている。



準優勝

今西栄子さん
(別海町)

「スウィート3カラット・さけまん」

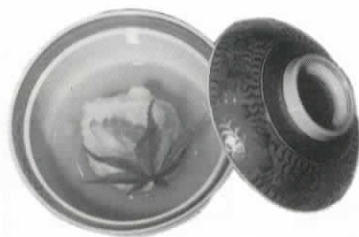
〈講評〉

盛りつけ方、色合いが素人の域を超えている。二品の味もしっかりしている。

三位

標津漁協婦人部
料理サークル

「鮭だんご揚げ出し」

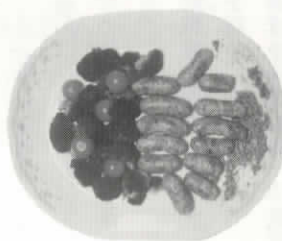


〈講評〉
味付けが良かった。盛りつけもすばらしいものがある。

奨励賞

クンベツピンクサー
モンズ(標津)

「ブッチンチャモウィンナー」



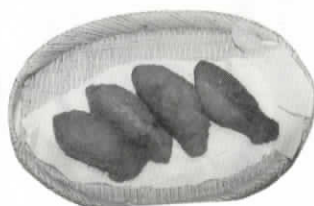
〈講評〉

ウィンナーの味が良かった。この味だと商品化も可能だと思う。

奨励賞

親子でクッキング
(標津)

「サーモンピロシキ」



〈講評〉

料理というより、おやつ感覚。子供が一生懸命手伝っていたのに感心。後片づけもきちんとしていた。

奨励賞

畑中 貞子さん
(標津)

「鮭の五色合せ」



〈講評〉

鮭の白子などの内蔵を使っ、色合い、味付けも良く、鮭の産地ならではの料理だと思う。

参加者の声



標津漁協婦人部料理サークル

こんなにサケ料理があるとは：

▽こんなにサケの料理があるとは知らず、勉強になった。
▽それぞれが良い味を出している。▽もっと多くの人に見学や試食をしてもらえれば。
▽このコンテストで町外のグループと料理で交流するきっかけができた。▽コンテストは今後も続けて欲しい。



男の料理鉄人を
目指す会
篠永政男さん
(中標津)

楽しく参加させて
もらい満足

▽月一回メンバーで料理作りに励んでいるが、今回は楽しく参加させてもらい満足している。▽次回はドライアイスの煙りの中から登場したい。



標津漁協青年部
先崎 功康さん

サケ全体を使った
料理も

▽鮭まんじゅう・餃子を作り、おいしいと評判。自信がつき、商品化に向け一歩近づいた気がする。コンテストでは、サケの身が中心だったので、サケ全体を使った料理がもっとあれば、ブナサケを使った料理も。

町内の若手が まちづくりを語る



●講演 「地域おこし夢と英知、そして汗と涙」
講師 (株) 日本コンサルタント
グループ・地域開発研究
所主任研究員
山口 和也さん



講演する
山口さん

【講演の要旨】

1. 標津町のまちづくりについて
・ハード面でのまちづくりは完成
を迎えつつあり、これからは「味
付けの時代」へとさしかかって
いる。

2. 問題提起のキーワードとして
の十個の「K」

- ① 高度技術の開発 ② 高度情報
化 ③ 高度交通革新 ④ 国際化
- ⑤ 高齢化へお年寄りの活動が地
域を支える。また、若い世代が
がんばる機会も少なく、若い人
の「心の高齢化」も課題 ⑥ 環
境問題 ⑦ 健康 ⑧ 心の充足
- ⑨ 個人主義へ集団より個人・家庭

指向。地域のコミュニティーも
地縁グループからサークル的グ
ループへと変化、足腰の軽い小
集団のネットワーク化が課題
⑩ 個性の時代へ短所補てんだけ
ではダメ。地域の長所をより伸
ばし、個性に磨きをかけること
が重要

3. まちづくりの視点としての三
つの「J」

- ① 自己改革へ広く社会の変化に
対応して、自分たちは何をやれ
ば良いか?
- ② 重点指向のまちづくりへいか
に地域の個性を出していくか?
- ③ 女性の立場にたったまちづく
り ④ 光・交流などを考えた時、

おみやげ・物産などを実際に買う
女性の意見をいかに吸い上げる
のか?

4. まちづくりの五つの一生懸命

- ① 一所懸命へ封建時代、武士は一
つの場所に命をかけて守ったこ
とが由来。まちづくりでは、い
かに地域性にこだわるかといっ
た視点の考え方
- ② 一生懸命へ事を起こす時は障
害はつきもの。「継続は力なり」
の理のとおり継続した努力が重
要
- ③ 一緒懸命へみんなでがんばろ
うではないか
- ④ 一笑懸命へこのまちでも足
の引っ張り合いはあるもの。つ
らいことは笑い飛ばそう
- ⑤ 一升懸命へ時には酒の力を借
りての飲みコミュニケーションも重
要。はずみで言ったことがきっ
かけで事が始まることもある

町内の若手が集い、「異業種
交流・地域おこしセミナー」が
十一月六日、生涯学習セン
ター・あすばるで開かれました。
このセミナーは、個性を生かし

た地域づくりを推進するため、
若手の町職員と産業分野の異な
る若手町民が参加して、地域づ
くりの全国事例や方策を学びな
がら、グループ討議を通じて具
体的な地域おこし活動への展開
と推進の方策を提言。参加者自
らの地域おこし活動の誘発と地

域づくりへの参加意識の高揚
を図ることを目的に、町と道市
町村振興協会の主催で開催さ
れました。

日頃、一堂に会する機会が少
ない町職員、漁、農協職員、漁
業者、商工会のメンバー二十
四人が参加。年齢は三十代が
中心。参加者は五グループに
分かれ、まちづくりへの様々な
活動テーマをあげ熱心に討議
しました。

これらの内容を紹介します。

5. まちづくり成功事例の四つの共通点

①夢「こんなまちにしたい」「こんなことをしてみたい」、個人から始まり、地域ぐるみへと夢が発展すれば実現する」

②英知「道や国との関係を密に保つ。関係ない人までもまちづくりに巻き込んでいく知恵」

③汗「できることから一歩一歩やる行動力が重要」

④涙「協力して良かった」

【グループ討議結果】

A 班

●活動テーマ「標準町売り込み大作戦」

☆活動目標 蛙にこだわるまちであることを広く世間にPRして全国的に客を呼びまちなちの活性化の弾みとする。

☆項目・内容

・なんでも良いから自慢できるものを探す。

①広報で特技のある人大募集
②めずらしい特技などマスコミで宣伝し、同時にまちなちのPRも

③自然だからできることを発掘

④標準ブランド開発 ⑤定住促進事業の実施 ⑥スノーボード、ハーフパイプコースの造成(冬と仲よくするまちづく

り。滞在型観光を目ざす) ⑦サームン科学館の集客と活用

⑧誰でも参加できるイベントづくり ⑨次世代にまちをおこし意識を受け継いでいくことが大切

・黙っていてもマスコミがつくような基盤づくりを！

☆実行体制・支援策
・特技、自慢コンテストの開催

B 班

●活動テーマ 蛙を生かした夢のあるイベントづくり「蛙を釣って一億円を当てよう」

☆活動のねらいと目標

①地元・隣接町と広域的なまちづくりの推進 ②今までの習わし的なイベントの廃止、縮小

③蛙の漁獲量日本一の標準をさらに全国的にアピールし、イメージアップを図る ④主催者も楽しめるイベントづくり。

☆活動計画

①宣伝 ②環境整備 ③宿泊施設の整備 ④商品の開発

・実行体制や活動の促進・支援策
・「実行委員会の設置」(構成員は固定せず、毎年再構成する)

C 班

●活動テーマ「人(まち)づくりは心のふれあい」

☆活動目標

①町民の一体的な活動を支援することにより、町民相互の理解を深め連帯感を高める ②交流活動により人づくりを行い、まちの基礎を築く

☆活動計画

①異業種間の交流 ②まちの交流をシンボルとした一大イベントの開催 ③各青年組織の再編

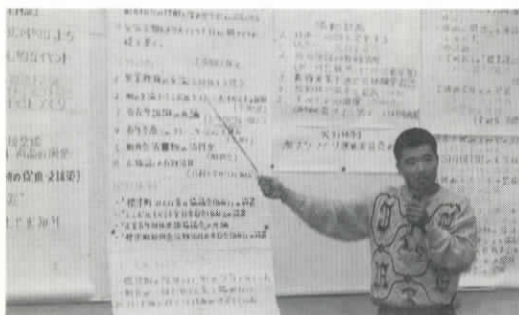
④各年齢層とのコミュニケーションを図る ⑤町内会活動の活性化 ⑥広報紙の有効活用

☆実行体制

①「標準町みんな集まれ協議会」
「シンボルイベント実行委員会」
「標準町町内会活動活性化委員会」の設置 ②「産業青年団体連絡協議会」の再編

☆テーマについての問題点

①まちが二分されている ②町民が一堂に会して集う場がない



討議結果を発表する参加者

が不足している
ハード面に対し、ソフト面

D 班

●活動テーマ「蛙を生かす」

☆活動目標

①蛙日本一をアピール ②体験的学習・交流の場をつくる ③蛙を使った食文化の創造

☆活動計画

①日本一の蛙を発見する ②既存施設の有効利用 ③基幹産業を通じた体験学習 ④蛙開発と提供 ⑤イベントの開催。あきあじまつりとサームンダービーの同時開催

☆実行体制

・蛙まちづくり推進委員会の設立

E 班

●活動テーマ「標準スクリーン大作戦」

☆活動のねらいと目標

①映画スクリーンの中で標準の自然、自然の恵みを訴える ②標準の自然を利用し、映画撮影隊を呼ぶ ③映画に関連した施設の整備・振興を目指す

☆活動計画

①全町民に「標準の身どころ」募集 ②映画会社へのPR ③若手映画活動家の誘致 ④SHIBE TSUの文字版の設置(せら山付

近に設置。ハリウッド風に) ⑤映画スタジオの整備 ⑥町民映画コンクールの開催

☆実行体制や活動の推進・支援策
①関係各団体による協議会の設立 ②標準スクリーン大作戦基金の設立 ③映画コンクールの開催 ④技術研修会の開催

【講評】

A班——▽「人を受け入れるまちづくり」として定住促進を進める方策▽一人ひとりが自らキャラクターをつくってほしい。

B班——▽「郡上踊り」に代表される長期滞在型イベントを考えてみては。▽統一ジャンパーを着て海岸線のゴミ拾いを。

C班——▽イベントの成否はどこで判断?(黒字なら良いか?)

D班——▽蛙の大きさの測定方法、協力体制を考えてほしい。

E班——▽映画のまち由布院、写真のまち東川町など事例あり。▽「標準裏の10景」探してほしい。

【講師からひと言】

▽人それぞれのキャラクターをいかに適材適所に活かしていくか、標準町という舞台で一人ひとり役割を演じる「手作り演劇」をつくろう。

TOWN NEWS

標津と川北のかけ橋 に白樺苗木250本植樹

町民の有志が集まり、十月二十七日、標津市街と川北市街を結ぶ道道川北茶志骨線沿いに白樺の苗木を植樹しました。

この取り組みは、本町の景観形成の方向性を検討してきた「晨（あした）を創る町民会議」のメンバー



で構成する「白樺並木を創る会」（葦沢喜代司代表）が町民に呼びかけて実施したもので、標津市街と川北市街の懸け橋として、今回、白樺を植樹。

今回植樹された白樺の苗木は、今年制定された「活力と潤いとやすらぎのあるまちづくり条例」に基づき補助で購入したもので、当日は中学生を含む町民四十八人が

参加。植樹にあたって葦沢代表が「白樺並木の造成は標津町らしい景観づくりの一環であり、標津と川北がひとつになってまちづくりを進めるパイプとなるもの」続いて、山口助役が「町民自らが行う素晴らしい取り組みで、将来が楽しみ」とあいさつしたあと、約七百五十メートルの区間に、三メートル間隔で白樺の苗木二百五十本を植樹

しました。

同創る会では「この輪を少しずつ広げ、多くの町民に参加してもらい、来年以降も植樹を続けたい」と、将来は、標津市街から川北市街までの約十キロを白樺並木にすることにしています。



白樺の苗木を植えた皆さん

標津農協が道国民年金協会会長表彰



標津農協（佐々木喜一郎組台長）

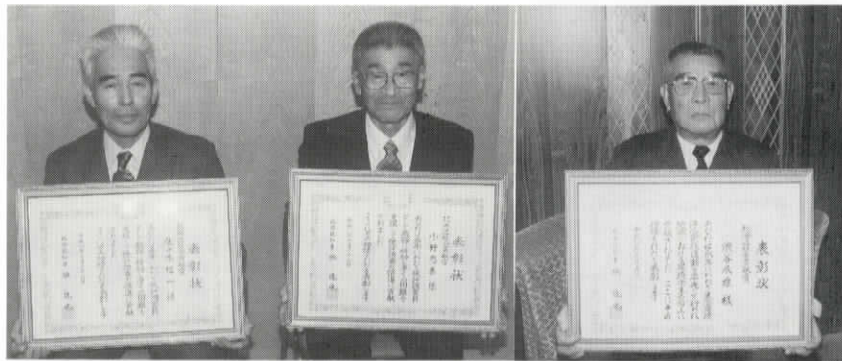
が道国民年金協会（藤野貞雄会長）会長表彰を受賞、十一月十二日役場で、釧路社会保険事務所の松井晋次長から表彰状を伝達されました。

同表彰は長年、国民年金事業に積極的に協力した団体に贈られ、同農協は昭和四十六年から被保険者である組合員から掛け金を徴収し、収納してきた実績が評価されました。

表彰状を受け取った同農協・柏谷幸一参事（写真）は、「農業は厳しい状況だが、年金は必要なもの。今後も組合員の理解を得ながら納付に努力していきたい」と話していました。

道社会貢献賞 受賞

小野さん、佐々木さん、渋谷さん



表彰状を手に喜びの（左から）
佐々木さん、小野さん、渋谷さん

このほど、小野忠義さん（72歳・新古多郷）、佐々木信一さん（71歳・本町）、渋谷辰雄さん（71歳・本町）が、北海道社会貢献賞を受賞しました。小野さんと佐々木さんは、三十年以上にわたり、国勢調査や住宅統計、商業統計、農業基本調査などの各種統計調査に従事し、統計調査の推進に貢献されたことが認められ統計功労として、また、

渋谷さんは、中標津

保健所管内衛生団体連合会副会長、町環境衛生協議会会長として地区衛生組織の運営に尽力されたことが認められ、環境衛生功労としてそれぞれ受賞しました。

受賞にあたり小野さんは、「統計調査への町民の皆さんのご協力があったからこそ、佐々木さんは、「体の続く限り統計調査に従事し、町のために少しでもお役に立ちたい」、渋谷さんは、「今後も公衆衛生の運動推進に努めたい」と話してくださいました。

各地で文化祭行事

十一月、町内各地で文化祭行事が開かれ、多くの町民で賑わいました。

三日には、生涯学習センター・あすばるでお茶会が開かれた。写真上は、十日には、芸能発表が行われ、とどわら太鼓やハンドベル演奏、合唱、詩吟、舞踊、写真



標津町が総合優勝

釧根地区町村剣道大会

町体育協会（竹野武美会長）主催の第36回釧根地区町村剣道大会が、11月3日、町総合体育館で行われ、本町が見事、総合優勝しました。

同大会には、釧根管内から61チーム、小学生から一般まで約400人が参加。選手の父母らも多数応援に駆け付け、「メン」「ドー」などと選手たちの気合いの入った技を繰り出すたびに、会場には声援と拍手が響きわたっていました。

下は、各サークル団体などが日頃の練習の成果を披露しました。また、展示部門では、絵画、書道、写真などさまざまな作品が展示され、訪れた町民は真剣に見入っていました。



標津らしい伝統ある祭りの創造を

町民総参加型の祭りの創造を目指し発足した、町民による「祭りをやる会」の会合が、十一月に入り二回開かれました。

会合では、「町民総参加型を目指すのであればどのような祭りが参加しやすいか、どのような祭りにしたら良いのか、アンケートにより町民各層から広く意見を求めることが必要」「ストーリーを創るため、子供たちから斬新なアイデアを募集できないか」また、「標津の伝説をひもとき、それを祭りに結びつける方法もある」など、積極的な意見が出されました。

同会では、平成十年の開催実現に向け今後も会合を続けていき、標津らしい伝統ある祭りを創り上げていく考えです。

川北中吹奏楽部が全国大会出場

川北中学校（大野昇校長）の吹奏楽部が、十一月十日、東京で行われた日本管楽合奏コンテスト全国大会に初出場し、優秀賞に輝きました。

同校の吹奏楽部は、全道吹奏楽コンクールに二十一回出場し十回金賞を受賞するなど毎年輝かしい成績を残しており、十三人という

小編成ながら今年も釧路地区吹奏楽コンクールで金賞、全道吹奏楽コンクールで銀賞を受賞するなど活躍。同コンテストには、九月に行われたテープ審査により全国二十校の中に選ばれ出場したもので、全国大会での優秀賞の受賞に、同校吹奏楽部顧問の古屋教諭は「毎日のきつい練習の成果が実りました。実際に全国大会に出場してみても、全国のレベルの高さを実感させられたため、これまで以上にがんばりたい」と話してくれました。

また、十一月十六

第31回 川北中学校吹奏楽部定期演奏会



日に川北生涯学習センターで行われた、同校吹奏楽部の第三十一回定期演奏会Ⅱ写真Ⅱでは、川北小学校吹奏楽部やOBバンドの演奏、合同演奏などのほか同校吹奏楽部が全国レベルの演奏を披露、訪れた聴衆を魅了し、会場からは盛んな拍手が送られていました。

三色のもちで交通安全、防犯呼びかける

川北地域子供会育成連絡協議会（門田勝弘会長）の主催の、交通安全・防犯もちつき大会が十一月三日、川北生涯学習センターで行われました。

この大会には、川北地区の園児



や児童など約五十人が参加し、大人たちの手を借りながらもちつきに挑戦。

この後、川北市街とポー川史跡自然公園前で、出来上がった信号機の色に見立てた三色のもちとティッシュペーパーなどをドライバーに配り、交通安全と防犯を呼びかけました。

「マルチメディアの世界」にどうぞ

「マルチメディアの世界」と題した、コンピュータを使ったさまざまなシステムの展示、実演が十月二十七日、二十八日の二日間に行われて生涯学習センター・あすばるで開催されました。

このマルチメディア展は、（株）東芝の協力で行われたもので、パソコンを用いたテレビ会議システ

ムやデジタルカメラを使用して写真を組み込んだオリジナルカレンダーの作成、インターネットの実演などのほか、ウインドウズ95を用いたパソコン教室も行われました。

会場を訪れた町民は、興味深く見入っていました。



町内の全世帯に秋サケ無料配付

町民へ還元し消費拡大を図ろうと、町内のサケ定置漁業経営者の有志（小川悠治会長）が、十一月二十三日、町内全世帯に秋サケの無料配付を行いました。

配付したのは、サケ定置漁業者を除く約2,100世帯で、1世帯当たりオス2本。

この日水揚げされたばかりの新鮮な秋サケ約4,400尾が、各町内会を通じて町民に配付されました。

農業NEWS

(※この記事は随時掲載します)

肉牛の受精卵 移植がすすむ

優秀な系統の黒毛和種牛の増殖を推進し、安い外国産の輸入牛肉に対抗して、農家が低コストで良質な肉牛生産をすることにより、農家所得の向上と黒毛和種牛生産地帯としての確立を図る目的で進められている受精卵移植事業が着実に進められています。

この事業は、標準農協が、全国農業協同組合連合会から優秀な系統の黒毛和種受精卵を買い入れ、町内酪農家が所有するホルスタイン

の初妊牛に移植し、生まれた子牛を町内黒毛和種繁殖農家に供給するもので、町からの補助を受け平成七年度から進められているものです。

平成八年十月末現在では、移植酪農家個数は十二戸で、移植受精卵個数七十五個に対し受胎頭数四十三頭(受胎率五七・三%)となっており、今後の本事業の推進と普及に期待されています。



▶生後一カ月の黒毛和牛(井上辰美牧場)



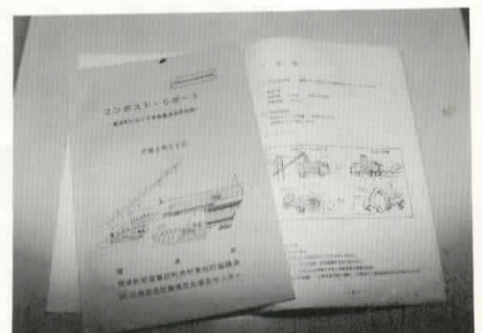
高収益を目指して 乳質改善講習会開かれる

十月二十二日と二十三日の両日、標準農協で農協青年部・女性部主催、標準乳質改善協議会協賛による乳質改善研修会が開かれました。乳質改善による高収益農業の実現を目指したもので、「正しい搾乳方法」のビデオを見た後、「良質乳価について」(北根室地区農業改良普及センター)、「細菌を少なくする方法とは」(北海道生乳検査協会)、「黄色ブドウ球菌に関する最近のデータ」(NOSAI標準支所)の各講話を通して具体的な指導を受けました。

特に重要な事項として、①標準町の乳量の伸びと所得を結び付けるには良質乳価でランク1に位置づける必要がある②牛乳の販売拡大には飲用向けの品質でなければならぬ。そのためには器具・機材の洗浄、殺菌を完全に行うことが大切である③黄色ブドウ球菌感染性乳房炎に対する治療効果などが話されました。

主催者側はこれからもこうした講習会を積極的に開催する予定であり、今後一層の良質乳生産と高収益が期待されています。

家畜糞尿の 有効利用を推進



町はこのほど北根室地区農業改良普及センターとの協力で標準町における家畜糞尿の利用実態を調査し、その結果をとりまとめた「コンポスト・リポート」(A4版縦型)を作成しました。

北海道からの補助(地域環境保全型畜産推進事業)を受け実施したもので、家畜糞尿の現状の問題点や経営形態によるコンポスト化の体系化及び減肥効果、さらに標準町における先駆的な糞尿利用例を紹介したもので全15ページでわかりやすく編集されています。

町では、最近、地球環境汚染問題が深刻化している中、家畜糞尿を有効なリサイクル有機質資源として位置付け、環境に調和した「クリーン農業の確立」に向けた啓発資料として、今後この冊子を各関係機関や標準町の全農家に配付することにしています。

「ボランティア活動に参加して」

古多糠中学校3年

吉田 紀美佳さん



標津町中学校連盟主催の第三十六回標津町中学校弁論・研究大会が十一月十二日、生涯学習センター・あすばるで開かれまし
た。
弁論の部で最優秀賞に選ばれた古多糠中学校三年の吉田紀美佳さんの弁論内容を紹介します。

ボランティアは一体、何のために？

皆さんは今までボランティア活動に参加したことがありますか。

私は、学校のボランティア委員会に籍をおいています。これはボランティア活動を全校生徒に呼びかけて実際に行いその中心となる委員会です。今までに緑・赤い羽根募金、交通安全キャンペーン、地域清掃などを行いました。

このように日頃からボランティア活動に参加している私の目に「標津にあるはまなす苑で、標津高校生やお年寄りの方たちと交流してみませんか」という呼びかけのポスターが目にとまりました。私はその前に立ち止まり、「このボランティア活動に参加したい」という気持ちの奥から沸き上がってくるのを感じました。なぜなら「ボランティア活動は一体、何のためにするのか」という私の長年の問いに答えてくれるのだと考えたからです。

ヒット曲を手話で歌う高校生に感動

はまなす苑でのボランティア活動は午前中、私は点字を選択しました。点字を勉強するのは初めてだったのでとても緊張しました。

しかし、そんな私たち中学生を見ていた高校生たちが、私たちの緊張をやわらげてくれるようなことをしてくれました。

例えば、次のようなことです。DREAMS COME TRUEという人気グループのヒット曲である「LOVE LOVE LOVE」（ねえど



9月29日、はまなす苑で高校生と中学生が一緒にボランティア活動に取り組む。写真は「あきあじまつり」をお年寄りに見学させるところ（左から2人目が吉田さん）

うしてすこくすこく好きなこと」という歌を手話で歌ったことです。このことは私にとって、すごい感動を与えてくれました。なぜなら高校生たちが、私たちの緊張を無くそう、自分たちと仲良くなろうという姿勢が手話を通じて伝わってきて、高校生の優しさを肌で感

じ取ることができたからです。
お年寄りに声をかけようとするが、時間だけか：

午後の秋祭りに参加しているときに、ある光景に心を奪われました。それは、次のようなことです。秋祭りには、車椅子に乗った

おじいちゃんと一緒に場内を一周し交流を深めるといったものでしたが、私は何を話していいか分からずとまどっていました。もちろん、声をかけようとする気持ちはあったのですが、勇気がなくて声をかけられず、ただ車椅子を押しているだけでした。そんな状態

で時だけが過ぎていきました。どれくらい時間がたったかわかりませんが、前や後ろの車椅子からお年寄りの方たちの笑い声が聞こえてきました。そこには、普段友達と話すように顔をニコニコしているおじいちゃん、おばあちゃんに話しかけている高校生たちが

いたのです。私は一瞬足が止まり、体が震えるのを感じました。そこには私の求める問いの答えがあったのです。

人のためにではなく、友達になりたいから

今まで私は、ボランティア活動をした後、自分が良いことをした、人のために何かした、というような傲慢な気持ちで私の心の大部分を占めていました。だから「お年寄りのために何かしなければ…」という気負いがあり、お年寄りの方たちに気軽に話しかけることができなかったのです。「私はあの人たちのために今、ボランティア活動をしているのよ」ではなく、「私があの人と友達になりたいから、気軽に話したいから、この人と一緒に行動しているのよ」という心構えが私には欠けていたのです。今までの自分、傲慢な気持ちがあった自分を卒業して、いろいろな人と出会うことを喜びとし、それが自分の成長につながるという自覚を持つことがボランティア活動には必要なのです。

私は、人に「ボランティア活動した日はとてもイキイキしているわよ」と言われるように、これからもボランティア活動をしていこうと思います。

健康
いち
健い



安里保健婦

今月の担当は

あなたの肝臓

大丈夫?!

年内も余すところわずかととなり、あわただしい日々を送られている方もいるのではないのでしょうか。

これからの時期、忘年会や新年会などお酒を飲む機会が増えることと思います。お酒は心身をリラックスさせる効果があるので、宴会の席の良きお供と言えるでしょう。でも飲みすぎると体に負担がかかります。

では体のどこが悪くなると思えますか?多くの方は肝臓と答えるでしょう。そこで今回は肝臓病のお話をします。

●肝臓の働き●

肝臓は人体の中で最も大きな臓器であり、化学工場と呼ばれるほどいろいろな機能をもっています。

- ①栄養素を分解・合成・貯蔵する代謝作用
- ②体に有害な物質(アルコール・薬

など)を無害にする解毒作用

- ③体内の血液量を保つ循環調節作用
- ④脂肪の消化・吸収を助ける胆汁をつくる作用など

●肝臓病の症状●

このように肝臓は重要な役割を果たしているため、肝臓の機能が落ちてくると、全身に影響を及ぼします。これが肝臓病の怖いところです。初期症状は次の通りですが、定期的に血液検査を受けて、早めに肝機能障害を見つけましょう。

- ①疲れやすい・体がだるい
- ②食欲がなく、吐き気がする
- ③風邪のような症状が続く
- ④白眼や皮膚が黄色くなる

●肝臓病の種類●

慢性肝臓病の80%は「肝炎ウイルス」で、残りがお酒や薬・肥満を原因として起こります。

ウイルスによる肝臓病が多いのですが、やはり肝臓にとって一番怖いのはお酒です。ウイルス性肝炎でもお酒を飲んでいればより悪化します。アルコールは肝細胞そのものを障害しますし、お酒を飲めば食事のバランスがくずれ、必要な栄養素が不足しがちになるのです。

次に代表的な肝臓病を紹介します。

①ウイルス性肝炎

肝炎ウイルスが原因で肝臓に炎症が起きる。A型肝炎は飲食物を介して経口感染する。B型・C型肝炎は血液を介して感染する。特にC型は肝臓がんへ進行する。

②脂肪肝

肝細胞に脂肪が過剰にたまる病気。原因はお酒の飲み過ぎ、食べ過ぎ、肥満、糖尿病など。

③肝硬変

肝臓の炎症が続くと、肝臓が線維化し全体が硬くなる。血流が悪くなり、栄養が行き渡らなくなり肝細胞が死に、肝機能が衰える。

●肝臓病の予防●

- ☆日常生活を見直しましょう。
- ・身の回りの衛生管理に努める。(排泄後の手洗い励行)
- ・食生活では栄養のバランスに留意し、規則正しい食事をする。偏食・過食に注意。
- ・適度に運動し十分に睡眠をとる。
- ☆お酒と上手に付き合いましょう。
- ・適量を守る。
- ・自分のペースで楽しく飲む。
- ・食べながら飲む。
- ・週に二日は「休肝日」とする。
- ・濃いお酒は薄めて飲む。

自分の適量にとどめよう!



多くても

- ・日本酒では1~2合
- ・ビールでは大瓶1~2本
- ・ウイスキーではダブルで1~2杯以内にしましょう

肝機能検査の正常値

GOT	8~40
GPT	5~35
γ-GTP	60未満 (IU/ℓ)

※アルコール性肝障害では特にγ-GTPが高くなります。

☆健康診断を受け、定期的に肝機能検査を行いましょう。

これらは肝臓病だけでなく疾病予防の全般に言えることです。健康的な生活に心がけ、自分の体を管理しましょう。

障害されてもなかなか症状を現さない肝臓は「沈黙の臓器」と言われています。だからこそ、たまには耳を傾けてください。

食べ過ぎ、お酒の飲み過ぎをしていませんか?

肝臓病の症状らしきものは出ていませんか?

健康診断の結果はどうですか?肝臓の内に秘められた声——聞こえませんか。

(※「健康いち番」は隔月に掲載しています。)

みんなの広場

皆さんの声を
このコーナーに
お寄せください

国道沿いの屋根や壁が壊
れている建物の改善を

Q

国道244号線沿いの
伊茶仁の現在使われてい
ない水産加工場のことで質問しま
す。この建物の屋根や壁など痛み
がひどく、見苦しく感じます。町
の指導で何とかありませんか。

A

ご質問の建物は、昭和
四十五年に建設された冷
凍加工場であり、当初、所有者は
岩手県の水産加工協同組合でした。
その後、数度にわたり所有者が変
わっています。

美観が悪く保安上も危険なため、
町では所有者が変わることに再三
にわたり、建物の改善について必
要な措置をとるように指導してい
ます。

今後は、町からの行政指導のみ
ではなく、建築基準法に基づいた
是正措置を道（根室支庁）が行う
ことになっています。

（建設課）



国道244号線沿い、伊茶仁の屋根などが
壊れている建物

ご意見や要望など
お寄せください

〈あて先〉
標津町字標津3-5
役場広報統計係
「みんなの広場」コーナーまで

このコーナーでは、町や広報紙に対するご意見や要望など
をお待ちしています。なお、匿名はご遠慮願います。
（ただし、人や団体の中傷となるものはご遠慮ください。）

時事川柳

七五三坊やもほく紅つけていた
葉が落ちたやがて歓喜の冬景色
政党もらしい政治家不足気味
初雪が降って心配ひとつ増え
菊花展友は大賞腕にだき
カラオケで歌って踊りボケ防止
叱られて婆の部屋にと駆け込みぬ
菓食べねばならぬから飯は腹八分
病む地球夕陽が落ちる血に染まり

小路惣一郎

今泉 慎子

戸村 寿生

太田 明人

新町民に スポット

酪農業

福地佳子さん



「夢は“ミニ観光
牧場”を作ること」

「瀬戸内海とは違い、オホーツ
ク海の荒々しさを見て北海道の
海だなあと思いました。標津は、
サーモンパークや生涯学習セン
ター、病院など立派な建物が多
いのびっくり」と標津の第一
印象を話す福地さん（北標津・28
歳）。

今年五月、町内の酪農家に嫁
ぎ新町民に。二年ほど前までは、
生まれ育った岡山市の会社に勤

ことからやり甲斐があるとい
ます。「酪農は奥深いので、いろ
いろ勉強していきたいですね。
今は昔の常識も変わってきてい
るので、研修の機会があれば積
極的に参加しています」と真剣
に酪農に取り組む姿勢には好感
がもてます。

将来の夢は、ヤギや羊、馬な
どの動物を飼って「ミニ観光牧
場」を作ることだそうです。「本

務。会社を退職後、小さい頃か
ら北海道での酪農にあこがれて
いたことから、訓子府町に実習
生として一年三カ月、酪農を学
びました。この間、酪農後継者
育成の同町にあるホクレン研修
牧場で実習していた旦那さんと
交流会で知り合い、めでたく
ゴールイン。

酪農の魅力は、餌の与え方や
牧草を作る過程も一軒一軒違

州の子供たちに動物をじかに触
って体験してもらいたいんです。
子供が喜ぶし、子供のためにも
いいと思いますよ」と、つい話が
弾みます。

広々とした大空と緑の大地に
立つ福地さんの第一歩が今、ス
タートしました。

いき・いき

人生



宮谷 ツネさん

(新川上町・85歳)

日本人形作りを始めて今年で四十五年にもなる宮谷さん。部屋には日本人形がびっしりと飾られています。「どの人形も一つ一つ愛着が

人形作りは 生きがいです

人形の魅力を訪ねると、「精魂込めて作っているの、出来上がった時がうれしい。人形に囲まれていると心がやすらぐんですよ。孫や娘たちにプレゼントして喜ばれています。大切にします。大切にしてみようと思っただけです。甲斐がありますね」と話します。

「最近、押し絵もやっていますが、まだまだ作りたい人形がいっぱいあるんですよ。これからも元気なうちは、人形づくりに励みたいですね。ただ悩みが一つ。人形の置き場がないところです」と笑う宮谷さんは、とても八十五歳とは思えません。

しべつ 歴史発見!?



ホー川史跡自然公園
副園長 梶田 光明

会津藩が標津のホニコイに築いた陣屋(藩領を治めるための政治、経済、軍事の中心施設)はどこにあったのか不明のままになっていく。ホニコイは現在の国道二七二号が二四二号にぶつかるあたりの地名だが…。

幕府は安政元年(一八五四)に和親条約、安政五年(一八五八)には通商条約をアメリカを始めとした各国と結び、鎖国から開国への道を進めていた。

こうした外交の変化と対応して



会津陣屋の柵跡か?

ホニコイチャン跡の発掘

居、蔵、学校、神社等を含む三十五棟が計画された。途中藩主松平容保が京都守護職に就くことから、建設資金不足が生じたようである。

会津陣屋はどこに…

蝦夷地を日本の領土として、安政二年には仙台、秋田、津軽、南部松前の五藩に警備を命じ、さらに安政六年には会津、荘内の二藩を加えて、蝦夷地を分割して領地として与え、開拓と警備を行わせた。

会津藩の領土は、西別から紋別までで本国からは最も遠く、広大な地域となった。そして、標津ホニコイの地に藩領の中心となる元陣屋を築いた。建設の様子は普請役鈴木平八の書いた「御陣屋御造営日記」(町文化財)に詳しい。なぜ元陣屋を標津に置いたのか明らかでないが、当時最も海産物の出産が多く、アイヌの人口が安定していたためだったと思われる。

箱館での木材切組の段階では十七棟、箱館から標津へ輸送の段階では本陣、表長屋、住居など十棟、そして文久三年にホニコイに建設されたのは六棟であったことが「御陣屋御造営日記」から判る。明治時代になって根室の開拓判官松本十郎の命じた調査では、会津藩の建物としてホニコイに八棟、シベツに二棟存在しており、すぐに取り壊され他に転用されたようである。

最近「文久二戌年蝦夷地御廻通法日記帳」(未公開)という絵日記風の記録が会津で見出された。これがかい間見るとシベツの二棟は現在のセイコーマートあたりに建てられている。陣屋については建設前で絵の中に「従是南陣屋地所」という標柱が現在の標津化成南側に当る所に建てられている。「御陣屋御造営日記」には建設地が変わった記録はなく、陣屋の位置は絵図の場所と間違いがないように思われる。そう考えると昭和五十七年に行ったホニコイチャン跡(佐々木一則氏所有地)の発掘で見つかった柵跡が、会津陣屋の柵跡の一部であった可能性が高くなってきた。

標 津 病 院

大野院長が着任しました。



11月1日付けで標津病院院長に大野高義氏が着任しました。町民のみなさんの健康回復のため、診療にあたります。

大野院長のプロフィールを紹介するとともに、抱負について聞きました。

- ▷年齢は—37歳
- ▷生まれは—九州・福岡県
- ▷出身大学は—久留米大学
- ▷趣味は—ゴルフ、スキー、音楽鑑賞
- ▷抱負は—

気軽に相談できる
雰囲気づくりを

- ▷町民のみなさんが気軽に相談していた
だけのような雰囲気づくりを心がけた
いですね。
- ▷私は呼吸器が専門なので、喘息でお悩
みの方はぜひおいでください。日常生
活から親切に指導します。
- ▷前院長に引き続き、町民のみなさんの
ために精一杯がんばりますので、よろ
しくをお願いします。

サーモン科学館・ポー川史跡自然公園

休館・休園のお知らせ

サーモン科学館及びポー川史跡自然公園は次のとおり休館・休園しますので、お知らせします。

■サーモン科学館

平成8年12月1日～平成9年1月31日

■ポー川史跡自然公園

平成8年11月25日～平成9年4月28日

募集

自衛隊生徒を募集

■資 格

中学校を卒業（見込み含む）している
者で、平成9年4月1日現在において15
歳以上17歳未満の男子

■試 験 日 平成9年1月5日（日）

■募集期間 平成9年1月4日（土）まで

★お問い合わせは、自衛隊帯広地方連絡
部中標津募集事務所（☎01537-2-
0120）まで。

み ・ ん ・ な ・ の ・ 掲 ・ 示 ・ 板

スキーシーズン到来——

来たれ！金山スキー

レーシングチームへ

冬の健全なるスポーツ・スキー。ぜひ標津金山スキーレー
シングチームでお子さんの体力・精神力にみがきをかけてみ
てはいかがでしょう。

過去、当チームでは、数多くの大会で優勝または優秀な成
績をおさめ現在に至っています。

なお、チームでは、入会希望者の皆様の負担軽減のお手伝
いとして、用品の一部ではありますが無料提供（ス
キー・ブーツ・ポール・ヘルメットなど）をさせていただきます。

▷入会の条件は、一人で滑走できることです。

▷入会希望または話を聞いてみたいという方は、お気軽に
ご連絡ください。

●入会希望・お問い合わせ先

標津金山ジュニアスキーレーシングチーム後援会

武田義昭宅（☎2-3007）

遠藤慎吉宅（☎4-2117）

※12月7日（土）までにご連絡ください。

●用品のサイズ合わせ・引渡し場所

日時：12月14日（土）午前10時～午後2時

場所：郷土料理 武田駐車場

※このコーナーに掲載を希望される方は、役場企画振興課
広報統計係（☎内線110）までご連絡ください。

（ただし、営利などを目的としたものはご遠慮ください）

くらし

ゴミ収集袋などの
取扱店のお知らせ

町では、現在次の店舗に「ゴミ処理証紙」及び「ゴミ収集袋」の販売を委託していますので、最寄りの店舗でお買い求めください。なお、「し尿取扱券」の取扱店は、※印のついている店舗です。

■ゴミ袋・証紙取扱店

〈標津〉▷しべつフードセンター※ ▷てつや正田商店※ ▷(有)高桑商店▷谷藤商店※ ▷B&SEA ▷白浜商店※ ▷(株)マルタカ高橋商店※ ▷信ちゃんのお店 ▷金田一商事(株)
〈川北〉▷水口薬店※ 〈伊茶仁〉▷斉藤商店※ 〈住吉町〉▷山崎商店※ 〈忠類〉▷(株)笹谷商店※ 〈浜古多糠〉▷山形商店※ 〈古多糠〉▷境商店※ 〈薫別〉▷(有)下柵棚商店※ 〈崎無異〉▷加瀬藤夫さん宅※

★お問い合わせは、役場住民課環境衛生係（☎内線 130）まで。

除排雪

除排雪作業に
ご協力を

今年も積雪の時期を迎えますが、除排雪作業をより効果的に行うため、次のことについて町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■路上駐車禁止。

■除雪車が作業を終了した路上には雪を出さない。

■子供には道路周辺でのソリ遊びなどはさせない。

■屋根の雪が自然落下すると予想される場所には、雪止めなどの措置を施す。

■個人で重機などによる除雪を行う場合は、除雪した雪を歩道や車道に山積みしない。

★お問い合わせは、役場建設課維持係（☎内線 226）まで。

戸籍の窓口から

（10月11日～11月10日届出分）

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
大西 博継さん	杉谷 恭子さん	川上町
岩本 敏男さん	工藤 尚江さん	曙町
匂坂 宏さん	村松小百合さん	茶志骨

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
加藤 愛生ちゃん	弥栄町	加藤 成孝代 仲樹
関川 拓斗くん	新川上町	関川 伸樹 美佐紀
伊藤 開人くん	伊茶仁	伊藤 浩樹 美由紀
本間 夢菜ちゃん	若草町	本間 広貴 真希子
藤澤 匠くん	弥栄町	藤澤 允 まどか

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
加藤 緑さん	栄町	84歳
三宅 タイさん	新川上町	82歳
太田竹之助さん	双葉町	75歳
三浦 ヒサさん	弥栄町	82歳

～町の年末・年始の業務～

●役場

〈12月30日御用納め・1月6日御用始め〉

12月31日から1月5日まで休み
※急用については随時受付ます。

●標津病院

12月30日午後から1月5日まで休診
12月30日の午前中は8時30分から11時まで受付
※急患については随時受付ます。

●生涯学習センター

12月30日から1月5日まで休み

●川北生涯学習センター

12月30日から1月5日まで休み

●図書館

12月30日から1月5日まで休み



●総合体育館

12月30日から1月5日まで休み

●し尿くみ取り

12月30日から1月5日まで休み

●ゴミ収集

12月30日から1月5日まで休み

寄付・寄贈

ありがとうございました

●体育文化振興基金として町に――

- ・標準スケートスポーツ少年団育成会
- ・ふれあいスポーツデー実行委員会
- ・湯浅清吉さん・川森一寿さん

●町社会福祉協議会に――

- 活動資金として
- ・聖友標津支所
- 香典返しをやめて
- ・小田中功一さん
- ボランティアバザーの益金を
- ・標津中学校生徒会

●はまなす苑に――

- ・川北染覚寺仏教婦人会
- ・畑義孝さん・阿部トミさん

中標津空港利用促進期成会

中標津～東京線モニターツアー実施中

中標津空港利用促進期成会では、エア・ニッポン（株）の協力により、次のとおり中標津～東京間の格安なモニターツアーを実施しています（航空運賃、2泊の宿泊代込み29,800円より）。

この機会に中標津空港の利便性と東京の新たな魅力を体験していただき、中標津～東京間の利用促進にご協力をお願いします。

■参加資格

根室管内に居住している方

■期 間

11月15日から翌年1月31日まで
（12月26日～1月6日出発は除外）

※お申込は2人以上でお願いします。

★お問い合わせは、役場企画振興課企画振興係（☎内線111）まで。

スポーツ

12月のスポーツ

1日（日）

▷第3回町民バスケットボール大会

〔9時～総合体育館〕

8日（日）

▷第4回親睦ソフトボール大会

〔9時30分～総合体育館〕

▷第15回防犯剣道大会第20回東西対抗剣道大会

〔9時～鳩ヶ丘体育館〕

15日（日）

▷第15回バレーボールリーグ戦大会決勝トーナメント

〔9時～総合体育館〕

▷第20回管内中学校剣道新人戦優勝大会

〔9時～鳩ヶ丘体育館〕

▷町交流バトミントン大会

〔9時～川北体育館〕

健康相談・健診日程表

〈12月分〉

乳幼児

■離乳食教室

5日（木）

〔13時30分～／あすばる〕

■乳幼児相談

10日（火）〈標津〉

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／あすばる〕

※午前の部 10・13カ月児、午後の部 4・7カ月児対象

12日（木）〈川北〉

〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕

※4・7・10・13カ月児対象

■乳児健診

16日（月）

〔13時～13時30分／役場2F集会室〕

■1歳6カ月児健診

17日（火）

〔9時～10時／役場2F集会室〕

■3歳児健診

18日（水）

〔13時～14時／役場2F集会室〕

■歯ピカ教室

2日（月）

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／あすばる〕

成人

■一般健康相談

2日（月）

〔13時30分～15時／茶志骨パイロット会館〕

12日（木）

〔10時～11時30分／川北生涯学習センター〕

20日（金）

〔13時～16時／役場相談室〕

■糖尿病健康相談（予約制）

18日（水）

〔10時～16時／役場相談室〕

★お問い合わせは、役場福祉保健課（☎内線129・135・131・138）までお気軽に

ごみの収集日

曜 日	一般廃棄物収集区域 （祭日は休みです）〈有 料〉	不燃物収集日 〈無 料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・ 緑町・弥栄町・曙町	12月5日・12月19日 （木）（木） 1月6日 （月）
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	12月6日・12月20日 （金）（金） 1月7日 （火）
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・ 薫別・崎無異・古多糠	12月4日・12月18日 （水）（水） 1月8日 （水）

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

福祉

歳末助け合い運動にご協力を!!

歳末助け合い運動が12月1日から全国一斉に始まっています。

この運動は、町内の恵まれない方々に歳末見舞金を贈り、町民そろって楽しいお正月を迎えようというものです。この趣旨にご理解をいただき、皆様のあたたかいご協力をお願いします。

見舞金は、民生委員、児童委員協議会、町社会福祉協議会で十分協議され対象の方々へ贈られます。

また、町内の事業所には、共同募金会役員が「大口篤志募金」のお願いにお伺いしますので、よろしくをお願いします。

—(社福)北海道共同募金会標津支部—

相談

「特設人権相談所」開設されます

～12月4日から10日までは

「人権週間」です～

次のとおり「特設人権相談所」を開設します。費用は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

■日 時 12月5日(木)

午後1時～4時

■会 場 あすばる

■相 談 員 法務局職員、人権擁護委員

■相談事項

夫婦親子、金銭貸借、不動産、相続、借地借家、いじめ、体罰、名誉信用、差別、公害、その他心配ごと
—私のまちな人権擁護委員—

・疋田敏一(栄 町) ☎2-2103

・渡辺文雄(川北寿町) ☎5-2837

※相談所開設以外でも随時相談に応じていますのでお気軽にご相談ください。

中小企業開業、経営、労働相談が開かれます

北海道では、中小企業の体質改善、経

営安定、起業化支援及び労働福祉の向上を図るため、次のとおり「移動中小企業開業・経営・労働相談」を開催します。

■日 時 12月10日(火)

午後1時30分～午後4時

■場 所 根室グランドホテル

■内 容

▷制度等説明会

融資制度、起業化支援施策など

▷金融・経営・労働・開業相談

上記相談窓口を設置による個別相談

★お問い合わせは、役場水産商工観光課 商工労働係(☎内線219)まで。

年金

基礎年金番号の通知が行われます

社会保険庁が準備を進めていた、将来の年金一元化への第一歩となる「基礎年金番号」が、12月から受給者3千万人、被保険者7千万人の合計1億人に対して通知され、平成9年1月から実施されます。

基礎年金番号は、一人一人が各年金制度に共通する10ケタの番号を持つことにより届出や照会が容易になり制度を通した加入記録が把握できることから、年金相談や裁定が迅速、確実にできるようになり、各種サービスが可能となります。

基礎年金番号は、あなたの年金を守るカギとなります。

年金教育資金の貸付をしています

国の教育ローン「年金教育資金」の貸付を次のとおり実施しています。

■資 格

厚生年金及び国民年金に10年以上加入している方

■融資金額

・厚生年金加入の方 一人100万円以内

・国民年金加入の方 一人50万円以内

■利 率 年3.40%

■返済期間 8年以内

★申し込み、お問い合わせは、(社)北海道年金福祉協会(☎011-241-6606)まで。

交通安全・防災

冬の交通安全運動実施中!

■期 間

12月1日(日)～12月10日(火)

■重点目標

- ・スリップなどによる交通事故の防止
- ・飲酒運転の防止
- ・スピードの出し過ぎなど無謀運転の防止
- ・シートベルトの着用の徹底

—中標津警察署・役場住民課—

火災防止の注意事項

～暖房器具による

火災を防ぐためには～

■ストーブ周辺には燃えやすいものを置かない。

■ストーブの上で洗濯物を乾かさない。

■ポータブルストーブの給油は火を消してから。

—標津消防署—

盗難の防止対策は万全ですか?

北海道警察では、年末に多発する犯罪や事故を未然に防止するため、特別警戒を実施しています。

皆さんも次のことに気をつけて、犯罪防止にご協力ください。

■金融機関から多額の現金を引き出しはできるだけ2人以上で行なう。

■旅行などで長期間家を留守にする場合は戸締まりを確認し、お隣りに一声かけて。

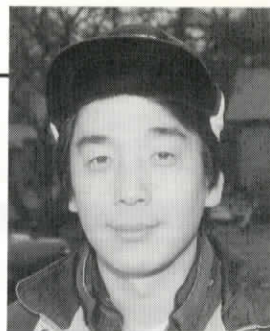
■凶悪事件の多くは盗難車が使用されます。車から離れるときは必ずキーを抜き、ドアロックを。

—中標津警察署—

まちの声

(127)

「わがまちしべつ」



小笠原正幸さん
酪農業（西川北）

標津が、「サケ」をメインとした「サケ」にこだわる町づくりを進めて、かれこれ十年近くが経過するでしょうか。この間、行政を中心に多くの人達のご尽力により標津を「サケのまち」として全国にアピールすることは進行形の中にあるつつも一定の成果を上げていると思います。

「サケ」をメインとした「サケ」にこだわる町づくりを進めて、かれこれ十年近くが経過するでしょうか。この間、行政を中心に多くの人達のご尽力により標津を「サケのまち」として全国にアピールすることは進行形の中にあるつつも一定の成果を上げていると思います。

私は、川北に生まれ育ち今年三十六歳になりましたが、当時（二十六歳前後の頃）町のこの振興計画に対し反感を持っていました。なんで標津は「サケのまち」なの、なんで「サケ」でなければなら

らないの？役場から来る書簡の封筒の色は「サーモンピンク」なの？町の産業をイメージするのなら、サーモンピンクもあっていいけれど、牛乳をイメージした「ミルキーホワイト」の封筒があってもいいんじゃないだろうか？沿岸にある市街地の街灯を「サケ」に形どるなら、農村部の街灯は「ウシ」の形でもいいではないか。などなど、サケに特別恨みがある訳でもなし、ひがみなのか、やっかみだったのか、心の狭い私には標津の基盤をなす二つの一次産業に優劣がつけられたように思えたのでした。そして、それは、行政に対しての不信感を生み、農業と、川北地区以外のことに對しては一定の間隔をとり常に冷めた目で見るようになっていました。

今更ながらなんとも愚かな考えであったと思う訳ですが、年を重ねてゆくうち、産業団体連絡協議会、青年開発会議、スポーツ交流（綱引き）などへの参加により町内の異業種の青年層の方々と話をする機会も増え、實際話をしてみると、違和感を感じることなどまったくなく、標津の将来を熱く語る人達も少なくなく、こんな身近に、こんな人達がいたということに、

私は、なんとなく安堵感を得ることができ、そして、それとともに「サケのまち」に對してのこだわりも薄れていったような気がします。地域の人達との交流が、地域を理解しようという意識を生んだのかどうかはわかりませんが、今では自分なりに「サケのまち・しべつ」を理解しているつもりでいます。

標津町は、多くの人達がいうように、海と山に囲まれたすばらしい土地なのだと、きっと思います。今、産業、生活、文化、環境など多方面からの整備が進められていることは周知の通りですが、それとともに「晨（あした）」を創る町民会議」など、町民全体の生の声を反映させることが可能な組織も構成されてきており、これはとても喜ばしいことであると思います。

ただ、七千人そこそここの小さな町です。イベントでもなんでも多くの町民の理解を得た上で、海の民も山の民も、一丸となって取り組むことができるようになればそこに、「ストーリーのあるまち」が見えてくるのではないかと考える次第です。

次の「まちの声」は、川北共栄町の横澤英三さんです。

人のうごき

・人口 6,722人 (-7)

・男 3,260人 (-1)

・女 3,462人 (-6)

・世帯数 2,327世帯(-7)

▷平成8年11月1日現在
()は前年比

町内の交通事故

・人身事故 0件(14)

・負傷者 0人(16)

・死亡者 0人(0)

・物損事故 31件(212)

▷10月16日~11月15日まで
()は累計

編集のまど

▽「鮭料理コンテスト」では、18組が参加し、全34品の料理がずらり。試食したところどれもおいしい。今まで、サケを使った料理がこんなに多くあるとは…。まだまだ料理方法があるそうです。サケ水揚げ日本一のまちだからこそ、各家庭でも工夫した料理にチャレンジしてみたいかがでしようか。▽町内の若手がまちづくりを語り合った「異業種交流・地域おこしセミナー」。職業の違う者同士が意見交換をすることにより、互いに知っているようで知らなかった「標津のまち」「自分」が見えてくるような気がします。このような意義のある「交流の場」の必要性を強く感じるとともに、普段からそういった機会を自分たち自らがつくることも必要だと思っています。

(H)

広報 しべつ

・発行日/平成8年12月1日
・編集・発行/標津町役場 総務部企画振興課広報統計係
〒086-16 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎ 01538-2-2131・FAX 2-3011
・印刷/標津印刷(株)